

第 118 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	受取手形	売掛金	売買目的有価証券
未着品	積送品	委託販売	前払金
建物	建設仮勘定	支払手形	買掛金
受託販売	前受金	裏書手形	割引手形
売上	未着品売上	積送品売上	売上値引
仕入割引	有価証券利息	有価証券売却益	仕入
仕入値引	売上割引	社債利息	有価証券売却損

- 「商品の引渡日から 30 日以内に代金の決済を行った場合には 3%の割引を行う」という条件で商品 40,000 円を掛売りしたが、商品の引渡日から 30 日後に当たる本日、3%の割引額を控除した金額が当座預金の口座に振り込まれていた。
- 他店より販売を委託されていた商品を 100,000 円で掛売りした。
- 遠隔地にある仕入先に商品 100,000 円を注文していたが、本日この商品に取り組まれた額面 60,000 円の荷為替手形の呈示を受けたので、これを引き受け、商品の貨物引換証を受け取った。
- 2 月 23 日、手許にある額面総額 100,000 円の社債を額面 100 円につき 97 円の裸相場で売却し、売却代金は端数利息とともに受け取り、直ちに当座預金とした。なお、この社債は、売買目的の有価証券として、当期の 12 月 12 日に額面 100 円につき 96 円の裸相場で買い入れた他社発行の社債（利率年 3%、利払日は 3 月末と 9 月末の年 2 回）である。また、端数利息の金額については 1 年を 365 日として日割りで計算する。
- 建設会社に依頼していた建物の建設工事が完了し、建物の引渡しを受けたので、建設工事代金 5,000,000 円からすでに支払っていた手付金 2,000,000 円を差し引いた残額 3,000,000 円を小切手を振り出して建設会社に支払った。